

希望を持って

住み続けたいと思える

まちづくりに **115** 億円

お知らせします！

**まちの行財政 2021**

岩手県葛巻町 令和3年度予算説明書

# 発行にあたって



岩手県 葛巻町長  
鈴木 重 男

町民の皆様には、日ごろから町政の各分野におきまして深いご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

令和3年度は、若い世代の移住定住をしっかりとサポートし、安心して家庭を築き、子どもを産み育てられる環境を整備する取組みに一段と力を入れるとともに、町総合計画に掲げる基本目標を達成するため、各分野において様々な事業を積極的に展開して参ります。

現在、新型コロナウイルス感染症の拡大を機に、改めて地方への関心が高まる中、都市から地方への大きな人の流れが生まれようとしており、当町においても、都市と同じ仕事、同じ生活ができる環境を整備し、最重要課題である人口減少問題の解決に向け、交流人口・関係人口の拡大に積極的に取組み、移住定住対策の強化を図って参ります。

また、未来を担う子ども達や若者が、結婚や出産、子育てに希望を持ち、安心して暮らせる環境を整えるため、基幹産業の振興のみならず、新たな起業や雇用の確保による所得の向上に努めるほか、住宅、子育て、教育などの環境の充実と経済的負担の軽減や、きめ細やかな支援に取り組むことで、若い世代の望みが叶う環境づくりに努めて参ります。

本年度も町民の皆様と行政が一体となり、喜びに満ち溢れる明るい未来を創造し、夢と希望を持って、この町だからこそ出来る、この町にしか出来ない取組みを展開し、葛巻町に住んでいて良かったと思えるまちづくりを進めて参りたいと考えておりますので、今後とも行政運営に対しまして、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年5月

## 目次

- 1p 発行にあたって
- 2p まちの予算の状況
- 6p 総合計画体系別の予算の状況
- 21p まちの決算の状況
- 28p まちの財務書類
- 30p まちの行政組織

# 令和3年度 まちの 予算 の状況

## ■ 予算額 (令和2年度対比)

令和3年度の一般会計予算は、役場新庁舎等建設事業や特別養護老人ホーム高砂荘浴室等整備事業などに係る予算を計上し、予算総額では前年比3.8%減の65億3,699万円となりました。特別会計は、3つの会計の合計が11億6,228万円で、一般会計と3つの特別会計の合計額は、76億9,927万円(前年度比3.0%減)となっています。

企業会計は、病院事業会計では支出ベースで12億1,137万円(前年度比1.2%減)となり、水道事業会計については、大橋配水管添架工事や大橋新町地区配水管布設替詳細設計業務などにより支出ベースで3億5,757万円(前年度比20.0%増)となっています。

役場新庁舎建設事業費、道の駅レストラン整備事業、テレワーク施設等整備事業など、令和2年度から令和3年度に繰り越される事業費は、総額で22億3,889万円となり、全ての会計の当初予算と繰越予算額を合わせた総予算額は115億710万円となっています。

### 一般会計・特別会計

会計名	令和3年度	令和2年度	増減額(伸率)
一般会計	65億3,699万円	67億9,716万円	△2億6,017万円(△3.8%)
特別会計	11億6,228万円	11億3,823万円	2,405万円(2.1%)
国民健康保険事業	8億5,823万円	8億4,505万円	1,318万円(1.6%)
農業集落排水事業	2億2,131万円	2億1,552万円	579万円(2.7%)
後期高齢者医療事業	8,274万円	7,766万円	508万円(6.5%)
合計	76億9,927万円	79億3,539万円	△2億3,612万円(△3.0%)

### 企業会計

会計名	令和3年度	令和2年度	増減額(伸率)		
病院事業会計	収益的収支	収入	11億853万円	10億8,027万円	2,826万円(2.6%)
		支出	11億2,026万円	10億9,802万円	2,224万円(2.0%)
	資本的収支	収入	5,266万円	9,098万円	△3,832万円(△42.1%)
		支出	9,111万円	1億2,859万円	△3,748万円(△29.1%)
水道事業会計	収益的収支	収入	1億6,326万円	1億6,716万円	△390万円(△2.3%)
		支出	1億9,099万円	1億9,508万円	△409万円(△2.1%)
	資本的収支	収入	1億259万円	5,565万円	4,694万円(84.3%)
		支出	1億6,658万円	1億294万円	6,364万円(61.8%)
支出額の合計		15億6,894万円	15億2,463万円	4,431万円(2.9%)	

前年度からの繰越	22億3,889万円	20億6,450万円	1億7,439万円(8.4%)
総合計	115億710万円	115億2,452万円	△1,742万円(△0.2%)

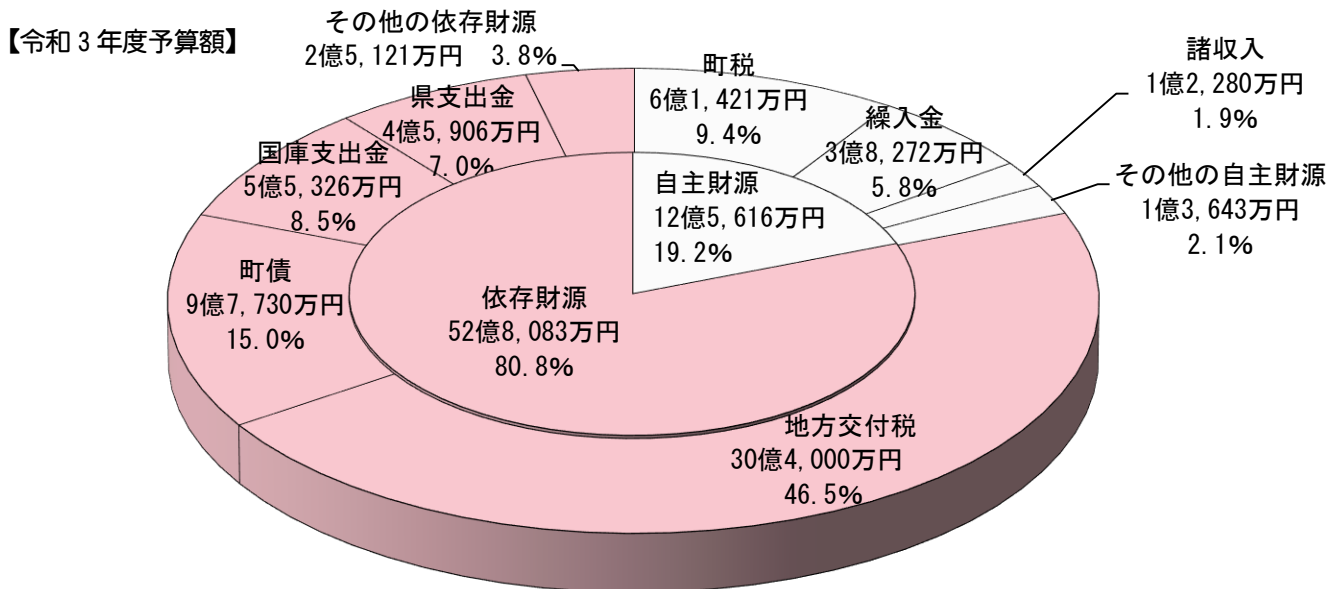
※ 収益的収支は、経営活動によって発生する収入と支出のことをいい、資本的収支は、病院建設などの建設改良等に係る収入と支出のことをいいます。

## ■一般会計 歳入（入ってくるお金）

歳入は、その性質により自主財源（町が自力で収入できるお金で【税金、使用料、負担金、基金からの繰り入れ】など）と依存財源（国・県などから交付、割り当てられるお金で【地方交付税、国庫・県支出金、各種交付金】など）に分かれます。

令和3年度予算の自主財源割合は19.2%で、令和2年度の15.3%に比べ3.9ポイント増加しています。

項 目		令和3年度予算額 (構成比率)	令和2年度予算額 (構成比率)	摘 要
自主財源	町 税	6億1,421万円 (9.4%)	4億7,297万円 (6.9%)	町民の皆さんからの税金
	繰 入 金	3億8,272万円 (5.8%)	3億7,533万円 (5.6%)	一般会計、特別会計、基金等の会計間を移動するお金
	諸 収 入	1億2,280万円 (1.9%)	7,019万円 (1.0%)	町税等の延滞金や町預金利息等
	分担金及び負担金	4,654万円 (0.7%)	4,907万円 (0.7%)	保育所や養護老人ホームなどの利用者が負担したお金
	その他の自主財源	8,989万円 (1.4%)	7,522万円 (1.1%)	使用料、手数料など他の収入科目に含まれないお金
依存財源	地 方 交 付 税	30億4,000万円 (46.5%)	30億5,000万円 (44.9%)	町の財政需要の状況により国から配分されるお金
	町 債	9億7,730万円 (15.0%)	17億1,250万円 (25.2%)	事業を行うために国などから借りるお金
	国 庫 支 出 金	5億5,326万円 (8.5%)	3億9,488万円 (5.8%)	事業を行うために国からもらうお金
	県 支 出 金	4億5,906万円 (7.0%)	3億5,070万円 (5.2%)	事業を行うために県からもらうお金
	地 方 譲 与 税	1億1,722万円 (1.8%)	1億1,590万円 (1.7%)	自動車重量税など国税から町に配分されるお金
	その他の依存財源	1億3,399万円 (2.0%)	1億3,040万円 (1.9%)	地方消費税交付金、利子割交付金、交通安全対策特別交付金等
合 計		65億3,699万円 (100.0%)	67億9,716万円 (100.0%)	前年比 2億6,017万円減



## ●歳入（令和3年度予算と前年度予算との比較）

R3	依存財源 52.8億円 80.8%			自主財源 12.6億円 19.2%
	地方交付税 30.4億円 46.5%	町債 9.8億円 15.0%	その他依存財源 12.6億円 19.3%	
R2	依存財源			自主財源
	地方交付税 30.5億円 44.9%	町債 17.1億円 25.2%	その他依存財源 10.0億円 14.6%	自主財源 10.4億円 15.3%
依存財源 57.6億円 84.7%				

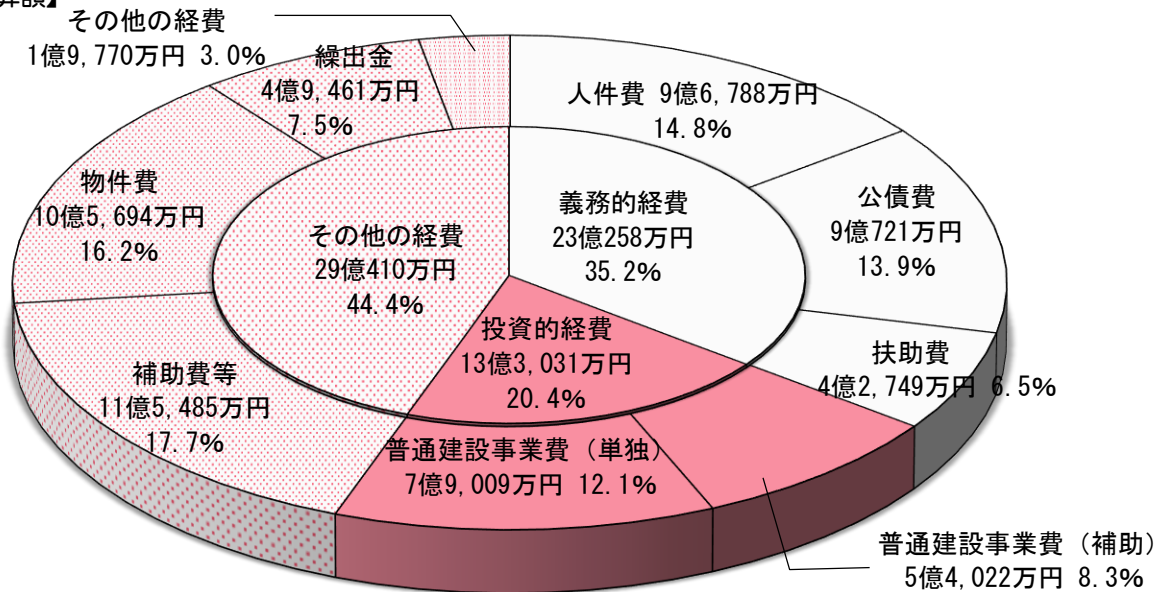
# ■一般会計 歳出（出ていくお金）

## ●性質別

歳出は、その性質により、支出が義務づけられ任意に削減できないお金「義務的経費」、施設建設など将来残るものにかかるお金「投資的経費」、「その他の経費」の3項目に区分することができます。

項 目		令和3年度予算額 (構成比率)	令和2年度予算額 (構成比率)	摘 要
義務的経費	人 件 費	9億6,788万円 (14.8%)	9億3,459万円 (13.7%)	議員報酬、各種委員報酬、職員給与・手当などの経費
	公 債 費	9億 721万円 (13.9%)	6億8,320万円 (10.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
	扶 助 費	4億2,749万円 (6.5%)	4億 502万円 (6.0%)	医療費扶助、福祉関係扶助、教育関係扶助などの経費
投資的経費	普通建設事業費 (補助)	5億4,022万円 (8.3%)	4億1,794万円 (6.1%)	建設事業のうち、国・県などから補助金・負担金を受けて施工する事業の経費
	普通建設事業費 (単 独)	7億9,009万円 (12.1%)	16億 876万円 (23.7%)	建設事業のうち、国の補助などを受けず町が自主的に施工する事業の経費
	災 害 復 旧 事 業	－ 万円 (－ %)	－ 万円 (－ %)	洪水などの被害を受けた施設を原形に戻すため施工する事業の経費
その他の経費	補 助 費 等	11億5,485万円 (17.7%)	10億5,853万円 (15.5%)	報奨金、損害保険料、負担金・補助金、公課費などの経費
	物 件 費	10億5,694万円 (16.2%)	9億7,703万円 (14.4%)	賃金、旅費、交際費、消耗品費、郵便料、委託料、使用料、低額備品などの経費
	繰 出 金	4億9,461万円 (7.5%)	5億5,670万円 (8.2%)	特別会計などへ支出する経費
	そ の 他 の 経 費	1億9,770万円 (3.0%)	1億5,539万円 (2.3%)	維持補修費、投資、出資金、貸付金、積立金、予備費
合 計		65億3,699万円 (100.0%)	67億9,716万円 (100.0%)	前年比2億6,017万円減

【令和3年度予算額】



## ●性質別歳出内訳（令和3年度予算と前年度予算との比較）

R3	人件費 9.7億円 14.8%	公債費 9.1億円 13.9%	扶助費 4.3億円 6.5%	投資的経費 13.3億円 20.4%	補助費等 11.5億円 17.7%	物件費 10.6億円 16.2%	その他の経費 6.9億円 10.5%
	義務的経費			投資的経費		その他の経費	
R2	人件費 9.3億円 13.7%	公債費 6.8億円 10.1%	扶助費 4.1億円 6.0%	投資的経費 20.3億円 29.8%	補助費等 10.6億円 15.5%	物件費 9.8億円 14.4%	その他の経費 7.1億円 10.5%

## ●目的別

目的別は、行政目的により議会費、総務費、民生費、衛生費、労働費、農林水産業費、商工費、土木費、消防費、教育費、災害復旧費、公債費、諸支出金、予備費の14項目に区分されます。

項目	令和3年度予算額 (構成比率)	令和2年度予算額 (構成比率)	摘要
総務費	9億6,472万円(14.8%)	17億2,992万円(25.5%)	情報通信基盤や再生可能エネルギー施設の維持管理、行政事務などにかかる経費
民生費	12億4,578万円(19.0%)	10億9,055万円(16.0%)	高齢者福祉や障がい者福祉、保育所の運営などの社会保障にかかる経費
衛生費	9億4,613万円(14.5%)	8億8,167万円(13.0%)	保健・衛生・環境などの業務にかかる経費
農林水産業費	7億9,242万円(12.1%)	7億4,055万円(10.9%)	農林・畜産業の振興や土地改良事業などにかかる経費
公債費	9億1,264万円(14.0%)	6億8,325万円(10.1%)	事業のために国などから借りたお金の元利償還金
土木費	4億5,619万円(7.0%)	5億9,469万円(8.7%)	道路・公園・河川などの建設や維持管理にかかる経費
教育費	5億1,005万円(7.8%)	4億5,778万円(6.7%)	小・中学校の運営や社会教育・体育事業の開催などにかかる経費
消防費	3億5,060万円(5.4%)	4億3,743万円(6.4%)	防災や災害時の活動などにかかる経費
商工費	2億5,029万円(3.8%)	7,769万円(1.1%)	商工業振興や観光振興などにかかる経費
その他の経費	1億817万円(1.6%)	1億363万円(1.6%)	議会費、労働費、諸支出金、予備費などの経費
合計	65億3,699万円(100.0%)	67億9,716万円(100.0%)	前年比2億6,017万円減

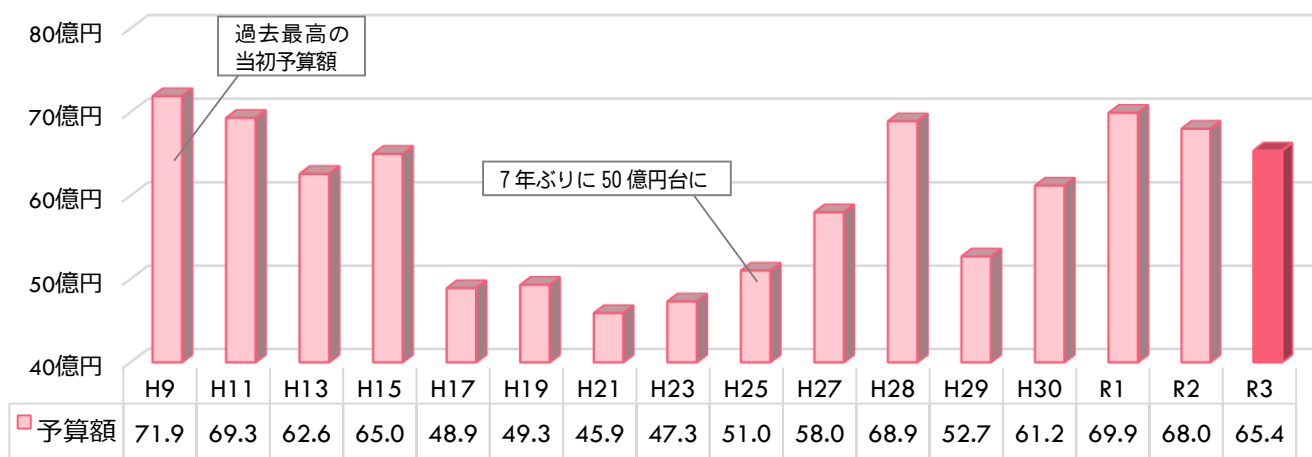
## ●目的別歳出内訳(令和3年度予算と前年度予算との比較)

	総務費	民生費	衛生費	農水費	公債費	土木費	教育費	その他
R3	9.6億円 14.8%	12.5億円 19.0%	9.5億円 14.5%	7.9億円 12.1%	9.1億円 14.0%	4.6億円 7.0%	5.1億円 7.8%	7.1億円 10.8%
R2	17.3億円 25.5%	10.9億円 16.0%	8.8億円 13.0%	7.4億円 10.9%	6.8億円 10.1%	6.0億円 8.7%	4.6億円 6.7%	6.2億円 9.1%

## ■一般会計当初予算額の推移

平成9年度以降の一般会計当初予算額の推移をグラフにしました。平成9年度の71.9億円を最高に右肩下がりに転じましたが、平成25年度以降は50億円を超える水準で推移しています。

今年度の当初予算は、役場新庁舎等建設事業や特別養護老人ホーム高砂荘浴室等整備事業、新型コロナウイルスワクチン接種業務などに係る予算を計上し、65.4億円となっています。



予算総額の115億710万円を総合計画の体系別に組み替えると、次のとおりとなります。

## I いきいきと輝き続ける“ひと” 48億4,452万円

### 1 子どもを安心して産み育てられる子育て支援 2億2,210万円

(1) 子育て環境の充実  
2億2,210万円

児童福祉の充実	8,990万円
保育所の充実	1億2,886万円
学童保育の充実	334万円

#### ■ 主な事業と予算

- 保育園運営のさらなる充実と保育士等の資質・能力向上に努めるとともに、就学前の子どもの成長を支え、小学校への円滑な就学を図ります。
- 不妊治療を受ける夫婦の経済的負担を軽減するための支援を行います。
- 妊産婦への助成や乳幼児等への医療費助成などの事業を推進し、町内での子育てを支援します。
- 食育推進計画に基づき、地域特性を生かした「食育」を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【新規】 出産祝金支給事業

400万円〈健康福祉課〉

出産に対して祝い金を支給することにより、次代を担う子どもの誕生を祝福するとともに、子育て環境の充実と少子化対策の推進を図ります。

##### 【事業内容】

- 第1子 10万円
- 第2子 20万円
- 第3子以降 30万円

##### 【継続】 子ども・生徒医療費助成事業

1,230万円〈住民会計課〉

県の子ども医療費助成制度に加え、高校生までの医療費助成を継続して行い、適正な医療の確保と子育て世代の負担軽減を図ります。

##### 【事業内容】

- 医療費の一部負担金を全額助成

##### 【継続】 幼児教育アドバイザー

63万円〈こども教育課〉

幼児教育の専門家である幼児教育アドバイザーを配置し、各保育園への巡回指導や助言をいただくことで、効率的な保育園運営と保育士の資質・能力向上を図ります。

##### 【事業内容】

- 幼児教育アドバイザー 1名



子育てサロンに参加する親子

## 2 学び輝く人づくりと葛巻を愛する人材育成 5億9,342万円

(1) 教育の充実 4億7,098万円	小中学校教育の充実 3億5,587万円 高等学校教育の充実 1億1,511万円
(2) 生涯学習の充実と文化の継承 5,261万円	生涯学習の充実と文化の継承 5,261万円
(3) 生涯スポーツの推進 6,983万円	生涯スポーツ・レクリエーションの推進 6,983万円

### ■ 主な事業と予算

- 学校教育では、基礎学力の定着を図るとともに、地域の資源を活かした教育を推進します。また、安全安心な教育環境の構築のため、学校施設などの整備に努めます。
- 公営学習塾を継続して運営し、個々のニーズに合わせたフォローを行うことで、葛巻高校生の進路達成に向けた学力向上や人材育成に寄与します。
- スポーツ施設の改修や指導者育成などにより、町民の利用促進だけでなく、町外からの誘客を図るとともに、より一層の生涯スポーツの推進に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】 学び輝く“ひと”づくり支援事業  
1,764万円〈こども教育課〉

地域で活躍する郷土愛に満ちあふれた“ひと”づくりを推進するとともに、児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図り、子育てしやすい環境整備を促進するため、子どもたちの“学び”に必要な経費に対して支援を行います。

#### 【事業内容】

- 学校給食費・学用品費等・クラブ活動費  
小：4.5万円(年額)、中：7.5万円(年額)
- 修学旅行費  
小：2.5万円、中：5万円
- 新入学用品費  
小：4万円、中：5万円、高：4万円



元気に遊ぶ子どもたち

【新規】 地域みらい留学事業  
1,017万円〈こども教育課〉

関係人口の増大および地方創生を目的に、首都圏の高校2年生を1年間、葛巻高校で留学生として受け入れます。留学生の体験活動などを企画・実施するために、高校と地域をつなぐコーディネーターを配置し、さらなる高校魅力化に取り組みます。

また、関係者による協働体制を構築し、高校を核とした地域活性化を推進します。

#### 【事業内容】

- 魅力化コーディネーター 1名
- 地域学習支援員 1名 など

【継続】 公営学習塾運営業務  
2,525万円〈こども教育課〉

葛巻高校の生徒を対象とした個別指導による通年学習塾「葛巻町学習塾」を運営し、生徒が抱く夢と未来の実現を後押しします。映像教材(希望者・一部有料)を導入しており、葛巻高等学校と連携しながら、さらなる生徒の学力向上を目指します。



**【新規】 学校・家庭・地域連携協力推進事業**  
332万円〈まなび交流課〉

地域と学校の協働体制の構築を図り、地域全体で子どもの学びを支える環境づくりを推進します。

**【事業内容】**

- 地域と学校をつなぐ「地域学校協働活動推進員」を全小中学校に新たに配置
- 地域の方々の協力を得ながら、放課後の安全で安心な子どもの居場所を提供する「放課後子ども教室」の運営

**【新規】 公民館図書コンシェルジュ業務**  
369万円〈まなび交流課〉

公民館図書コンシェルジュを配置し、新庁舎の交流スペースに係る「まなびの環境づくり」を推進します。

**【業務内容】**

- 新庁舎オープンを見据え、町民の学びと交流、図書室機能など、文化創造活動の拠点となる交流スペースのサービスを検討



現在の公民館図書室

**【新規】 スポーツ指導者養成事業**  
60万円〈まなび交流課〉

生涯スポーツを推進するため、スポーツ指導者の資格取得に係る費用の一部に対し補助金を交付します。

**【対象資格】**

- 公益財団法人日本スポーツ協会が公認する競技別指導者資格

**【補助金額】**

- 上限を3万円とし対象経費の4/5を補助



合宿中の明治大学陸上部による陸上教室

**【継続】 スポーツツーリズム奨励事業**  
200万円〈まなび交流課〉

交流人口の拡大による地域活性化を図るため、町外スポーツ団体が町で行う合宿宿泊費の支援を行うとともに、町内競技団体が主催する大会の運営経費の一部を助成します。

**【事業内容】**

- スポーツ合宿等宿泊費助成
- スポーツ大会等誘致運営費助成

● **その他の主な事業**

● 小学校・中学校管理経費	5,099万円	(こども教育課)
● 山村留学関連業務	5,835万円	( // )
● 高等学校教育振興事業	1,000万円	( // )
● 生涯学習推進事業費	208万円	(まなび交流課)
● 文化財保護事業	148万円	( // )
● スポーツ施設改修工事	950万円	( // )

### 3 誰もが生きがいを持って暮らすことができる環境づくり 39億9,664万円

(1) 保健・医療の充実 29億1,326万円	健康づくりの推進	1億6,742万円
	医療の確保	16億4,678万円
	医療保険制度の充実	10億9,906万円
(2) 福祉の充実 10億8,338万円	地域福祉の充実	5,250万円
	高齢者福祉の充実	7億1,275万円
	障害者福祉の充実	3億1,813万円

#### ■ 主な事業と予算

- 新型コロナウイルス感染症予防に努めます。
- 各種予防ワクチン接種費用への助成を推進します。
- 町内全域でうつスクリーニングを実施するとともに、「こころの健康づくり連絡会」と連携し、自殺予防対策を推進します。
- 医療機関などと連携し、生活習慣病予防や介護予防を重視した健康相談事業などを推進します。
- 後期高齢者医療事業の安定した運営に努めます。
- 地域福祉、高齢者福祉、障害者福祉及び介護保険事業に係る各計画に基づき事業を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

##### 【新規】ニコちゃん健康ポイント事業 150万円〈健康福祉課〉

特定健診などの各種健診事業や健康づくりに関する事業の参加者に対して、ニコちゃんカードのポイントを付与することで、各種事業への参加率向上と町民の健康増進、健康意識向上を推進します。

##### 【事業内容】

- 健康づくりに関する事業への参加者に対してニコちゃんカードポイントの付与



健康づくりへの取組み

##### 【新規】特別養護老人ホーム高砂荘浴室等 整備工事 1億8,010万円〈健康福祉課〉

築30年以上経過した高砂荘の浴室の整備増築を行い、入所者が安心して入浴できる環境を充実させると同時に、新型コロナウイルス感染症予防のためのゾーニング（区画分け）の強化を図ります。

##### 【新規】新型コロナウイルス感染症予防事業 3,071万円〈健康福祉課〉

ワクチン接種の推進や円滑な接種が行えるよう準備を進め、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図ります。

##### 【業務内容】

- 新型コロナワクチンの集団接種
- 感染症対策資材の購入 など

**【拡充】 配食サービス事業**

340万円〈健康福祉課〉

在宅生活を送っているひとり暮らしの高齢者等に対して、毎月4回、栄養バランスのとれた食事の提供を行い、健康で安心して暮らすことができるように支援を行います。

**【主な変更点】**

- 75歳以上の高齢者は皆さん対象となります。

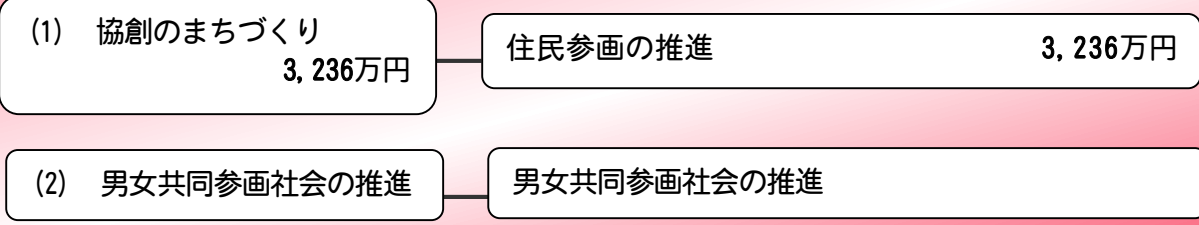


笑顔も届ける配食サービス

**● その他の主な事業**

● 生活習慣病予防事業	2,821万円	(健康福祉課)
● くずまキッズ予防接種費扶助事業	230万円	( // )
● ぬくもり助成事業	315万円	( // )
● 高齢者等外出支援事業	250万円	( // )
● 看護職員等養成修学資金貸付金	552万円	( // )
● 保健事業分析支援業務	493万円	(住民会計課)
● 後期高齢者人間ドック事業	10万円	( // )

**4 協創のまちづくりの推進 3,236万円**



**■ 主な事業と予算**

- さまざまな行政課題の解決や魅力的なまちづくりについて、広く町民の皆さんから参画していただき、町民と行政とが協創してまちづくりに取り組むことを推進します。

**● 重点的に実施する事業**

**【継続】 協創のまちづくり補助金**

720万円〈総務課〉

住民自らが地域社会に関心を持ち、「理想・魅力・交流・育成・連携・互助」をキーワードに、自治会などの地域コミュニティ団体が地域課題を解決するために行う事業に対し、補助金を交付します。

「地域住民の親睦・互助」や「地域の人材育成」、「地域活動に要する備品購入」などを目的とする事業が対象となります。



## II 誰もが住みたくなる“まち” 22億2,309万円

### 1 快適に暮らせる生活環境の創出 17億5,959万円

(1) 生活環境の整備 9億5,172万円	住環境の整備	2,873万円
	水道施設の整備	4億2,828万円
	生活排水処理施設の整備	3億3,381万円
	環境衛生の充実	1億6,090万円
(2) 交通・通信ネットワークの整備 8億787万円	道路交通網の整備	5億6,356万円
	生活交通対策の推進	2,515万円
	地域情報化の推進	2億1,916万円

### ■ 主な事業と予算

- 木造住宅の耐震診断、耐震改修工事に対する助成事業を実施します。
- 町道整備、道路維持修繕事業、安全施設設置事業や橋りょう長寿命化事業を実施し、計画的な維持管理に努めます。また、除雪体制も国・県道路線交換等を進め、効率的な計画により住民サービスの充実に努めます。
- バス交通対策については、引き続き関係町村と連携しながら路線維持に努めます。

### ● 重点的に実施する事業

#### 【新規】埋立処分場油圧ショベル更新事業 1,440万円〈農林環境エネルギー課〉

廃棄物を効率よく適正に処理するため、老朽化が進んでいる埋立処分場の作業用車両を更新します。

#### 【業務内容】

- 油圧ショベル 1台



#### 【新規】馬淵川地区水道施設基本設計策定業務 600万円〈建設水道課〉

老朽化が進んだ馬淵川地区水道施設（旧馬淵川簡易水道施設）の更新に向けた調査を行います。

#### 【事業内容】

- 改良に向けた基本計画、基本設計の策定

#### 【継続】町整備型浄化槽整備事業 4,200万円〈建設水道課〉

生活排水による水質汚濁を防止するため、し尿と雑排水を併せて処理する浄化槽を整備し、快適で衛生的な生活環境の推進に努めます。

#### 【事業内容】

- 町整備型浄化槽整備 30基



安心・安全な水の供給ための計画的な整備

**【継続】 清掃センター長寿命化修繕工事**  
1,100万円〈農林環境エネルギー課〉

施設を安定的に稼働させるため、清掃センターの設備を計画的に修繕し長寿命化を図ります。

**【事業内容】**

- 焼却炉ロストルの補修
- 炉内及び再燃焼室の耐火物の補修
- 飛灰コンベア減速機の交換                    など

**【継続】 道路改良事業（町道5路線）**  
1億8,500万円〈建設水道課〉

生活関連道路の拡幅改良などにより、利便性、安全性、快適性の向上を図ります。

**【事業内容】**

- 町道茶屋場田子線    4,000万円
  - ・大橋施工区間の舗装工事
  - ・下町～田子間の歩道設置工事
- 町道葛巻浦子内線    9,500万円
  - ・大橋上部工工事
  - ・道路改良工事
- 町道愛羅瀬線        1,000万円
  - ・未舗装区間の舗装工事
- 町道廻立向線        3,000万円
  - ・未舗装区間の舗装工事
- 町道追鍋線            1,000万円
  - ・水路改修及び拡幅改良工事



**【継続】 地域公共交通再編支援業務**  
250万円〈政策秘書課〉

人口減少や少子高齢化に伴う公共交通利用者の減少や、高齢者などが利用する上での公共交通が抱える課題に対応するため、住民の快適な暮らしを支える持続可能な公共交通体系を整備します。

**【事業内容】**

- 公共交通網の形成
- 路線図、時刻表等広報資料の作成



葛巻病院への送迎バス

**【新規】 地域未来構想具現化調査業務**  
300万円〈総務課〉

テレワークやワーケーションなど新たな働き方を取り入れるため、町内観光施設を活用しながら、町での魅力ある働き方について調査検討を行います。

**【事業内容】**

- 専門家の意見を踏まえたロードマップの策定

●その他の主な事業

● 廃棄物処理事業	6,228万円	(農林環境エネルギー課)
● し尿処理事業	3,252万円	( // )
● ごみ焼却場管理事業	2,956万円	( // )
● 道路長寿命化修繕工事	3,700万円	(建設水道課)
● トンネル長寿命化修繕工事	2,500万円	( // )
● 町営住宅長寿命化修繕工事	1,000万円	( // )
● 大橋配水管添架工事	2,800万円	( // )
● バス路線運行拡大支援対策事業	1,400万円	(政策秘書課)

## 2 自然と共生し地域の豊かな資源を活用するまちづくり

4,589万円

(1) 自然環境の保全と土地の利活用  
4,247万円

土地の利活用等

4,247万円

(2) 再生可能エネルギーの推進  
342万円

新エネルギー・省エネルギーの普及・啓発  
342万円

### ■ 主な事業と予算

- 町の貴重な財産である自然環境を守り育て、次世代へ引き継ぐための意識啓発と自然環境保護に取り組めます。
- 新エネルギーなどの導入や環境に配慮した取り組みを町民や事業者が実感できるような事業を推進します。

### ● 重点的に実施する事業

【新規】河川自然災害防止対策工事  
400万円〈建設水道課〉

近年多発する豪雨災害に備え、町内の河川における改修を行い、大規模災害発生を未然に防ぐ対策を図ります。

【事業内容】

- 大平沢川河川改修工事



豪雨災害を受けた大平沢川河川下流

【継続】中山間地域総合整備事業  
1,710万円〈建設水道課〉

江刈地区における農道・用排水路などの生活基盤を整備し、基幹産業である酪農の粗飼料確保、大型機械による労働効率向上につなげ、酪農経営の安定化と営農の利便性の向上を図ります。

【事業内容】

- 中村寺田線農業用排水路工事
- 農道大沢線整備工事

【継続】エコ・エネ総合対策事業  
130万円〈農林環境エネルギー課〉

地域循環型社会の構築と町内経済の活性化を図るため、新エネルギー・省エネルギー施設の整備および環境改善・リサイクル活動に要する経費に対し、補助金を交付します。

【事業内容】

- 新エネルギーなどを導入する際の経費助成
- エコ活動推進の取組みの際の経費助成
- 資源回収の実施に伴う経費の助成

### ● その他の主な事業

● 河道浚せつ事業 ..... 200万円（建設水道課）

### 3 こころ穏やかに安全安心に暮らせる地域社会づくり 4億1,761万円

(1) 防災対策、消防・救急体制の充実 4億960万円	防災対策、消防・救急体制の充実 4億960万円
(2) 交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 801万円	交通安全・防犯・青少年問題対策の充実 801万円

#### ■ 主な事業と予算

- 災害の未然防止および応急体制の確立を図るとともに、町民の防災意識の高揚に努めます。
- 関係団体との緊密な連携を図りながら、消防施設の近代化と組織体制の強化に努めるとともに、町民の防火意識の高揚に努めます。
- 事故や犯罪がなく誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進に向け、町民の意識啓発活動に取り組みます。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】 消防団新基準訓練服整備事業  
530万円〈総務課〉

消防団員制服基準の改正に伴い、消防団員の訓練服を新基準に適合したモデルに更新します。現在の訓練服と比べ、オレンジ色の配色を増やし、火災・災害等の活動現場における視認性を高め、消防団員の安全な活動体制確保を図ります。



現行訓練服



新基準訓練服

【新規】 消防団準中型免許取得費助成事業  
31万円〈総務課〉

道路交通法改正により、消防車の運転に準中型免許が必要となりました。

各所属分団に配備している消防車を運転することができない団員に対し、準中型免許取得費用を助成し、消防団の安定的な消防防災活動を支援します。

【事業内容】

- 準中型免許取得費用に対する助成

【継続】 町青少年育成ネットワーク補助事業  
75万円〈まなび交流課〉

町内の教育関係機関および各種団体などにより組織された葛巻町青少年育成ネットワークの活動費を補助し、本町の教育振興と青少年の健全育成を推進します。

【主な事業】

- 青少年健全育成ミニサッカー大会
- 沖縄県北中城村中学生交流事業
- 子どもの未来を考える町民の集い など

#### ● その他の主な事業

● 盛岡地区広域消防組合負担金	2億9,106万円	(総務課)
● 災害対策経費	807万円	( // )
● 交通安全対策経費	196万円	( // )
● 防犯活動経費	532万円	( // )

### III 地域資源を活かす“しごと” 15億753万円

#### 1 基幹産業の新たな展開による高収益産業の実現 11億7,621万円

(1) 農業の振興 10億7,486万円	畜産振興	7億2,995万円
	農業振興	1億 663万円
	農業施設等の整備	2億3,828万円
(2) 林業の振興 9,266万円	林業振興	9,266万円
(3) 農林産物加工の振興 869万円	加工施設の充実	869万円

#### ■ 主な事業と予算

- 農業振興では、園芸作物の生産拡大、経営所得安定対策の推進を図るなど、農家の所得向上に努めます。
- 畜産振興では、粗飼料生産基盤の強化と粗飼料自給率の向上を図るとともに、乳用牛および肉用牛の改良を進め、農家経営の安定化対策に努めます。
- 林業振興では、豊かな森林環境の将来にわたっての保全と利用拡大を推進します。

#### ● 重点的に実施する事業

【新規】ミルクハウストイレ改修工事  
1,200万円〈農林環境エネルギー課〉

ミルクハウス周辺を訪れる観光客の利便性向上のため、ミルクハウスのトイレを増築する改修工事を行います。

【事業内容】

- トイレ増築工事

【継続】草地畜産基盤整備事業  
2億6,585万円〈農林環境エネルギー課〉

飼料生産の基盤整備を行い、生産性の高い飼料基盤を確保し飼料自給率の向上を図るとともに、畜産経営の規模拡大のため、畜舎などの整備を行います。

【事業内容】

- 飼料畑造成改良
- 飼料調製貯蔵施設整備
- 家畜保護施設等整備

【継続】道の駅レストラン建設事業  
5,300万円〈農林環境エネルギー課〉

新たに町の農産物や特産品を活用した料理を提供するレストランを整備し、道の駅くずまき高原の利便性向上や、利用者の増加に伴う交流人口の拡大、町の特産品等の振興を図ります。

【事業内容】

- 浄化槽、変電設備、看板設置工事
- 備品購入（厨房機器など）



「道の駅レストラン」完成イメージ



**【新規】くずまき食のマイスター業務**  
369万円〈農林環境エネルギー課〉

新型コロナウイルス感染症の影響により消費が低迷している牛肉をはじめとする町産食材の消費拡大と農畜産物・特産品の振興を推進するため、くずまき食のマイスター（地域おこし協力隊）に本業務を委託し、第三セクターなどと連携した新メニューの開発や商品のPR活動を行います。

**【継続】農道寺田線整備事業**  
1,400万円〈建設水道課〉

農業振興、農業生産効率向上を図るため、農業機械の大型化に対応する農道改良舗装工事を行います。

- 【事業内容】**  
○農道舗装工事（延長L=500m）

**【新規】森林雇用促進住宅整備工事**  
2,200万円〈農林環境エネルギー課〉

町の基幹産業である林業を支える労働力の確保に向けて、林業従事者専用住宅を整備します。

- 【事業内容】**  
○木造平屋建て長屋3世帯

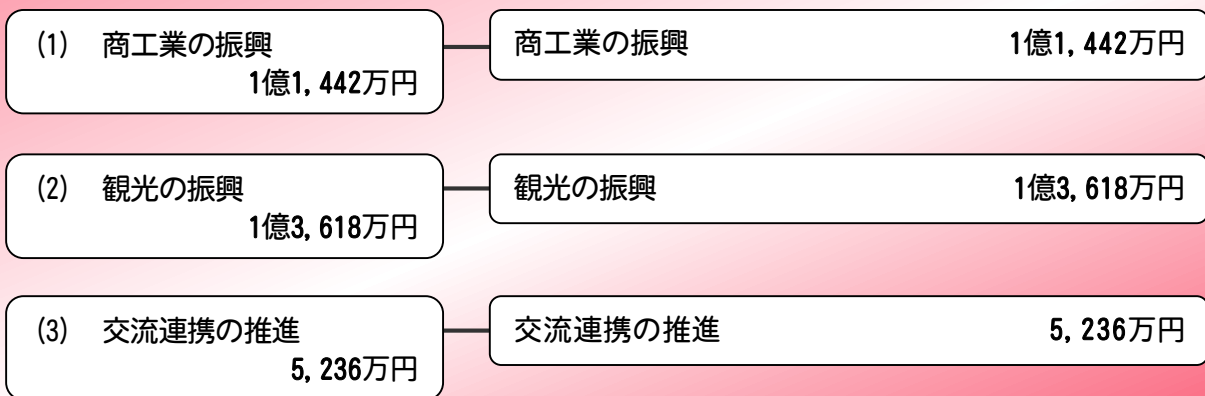


町の基幹産業である林業

● **その他の主な事業**

- 農地基盤整備事業 ..... 500万円(農林環境エネルギー課)
- 山地酪農研修センター長寿命化修繕事業 ..... 700万円( // )
- 森の館ウッディ遊歩道修繕事業 ..... 140万円( // )

**2 交流・連携の強化による地域産業の育成 3億296万円**



■ **主な事業と予算**

- 商工業振興では、中心市街地の活性化を図るとともに、各種補助制度による商工業者の経営の持続、安定、革新を支援します。
- 交流連携の推進では、関係人口の創出・拡大を図るとともに、移住・定住者希望者へ向けた体験ツアーの実施や住宅取得支援を行うことで、移住・定住者の確保に努めます。

## ●重点的に実施する事業

### 【新規】経済活性化事業

6,590万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

新型コロナウイルス感染症拡大により、大きな影響が生じている商工業事業者の事業継続と経営支援を図るため、幅広い業種を対象とする商工業事業者および町民をはじめとする消費者にメリットのあるプレミアム事業を展開し、地域経済の回復と活性化に繋がります。

#### 【事業内容】

- 観光拠点施設クーポン券付プレミアム商品券発行
- 換金時プレミアム助成

### 【継続】くずまき型DMO事業

2,330万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

くずまき観光地域づくり協議会を中心に、「特産品」「観光PR」「まちなか」「スポーツツーリズム」「移住交流」「若者・高校生」の6つの検討部会でそれぞれの課題解決を図り、人口減少対策に向けた活動を展開します。

#### 【事業内容】

- 特産品開発・販売促進事業
  - サイクルツーリズム推進事業
  - まちなかエリア活性化事業
  - 移住体験事業
- など

### 【継続】くずまき鍋開発支援事業

297万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町の食の魅力を県内外に発信することにより、町内への観光客増加を図るため、町の特産品を活用した新メニュー「くずまき鍋」を、町内の複数の事業者が連携しながら提供することで、町内での食べ歩きに誘導し、町の活性化に繋がります。

#### 【事業内容】

- 商品開発支援
- PR活動の実施



昨年度販売された「くずまき鍋」

### 【新規】大橋上屋建設工事

9,331万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町道葛巻浦子内線改良工事によって新たに架け替えられる「新大橋」に、木製の上屋を整備します。

「林業の町」の新たなシンボルとして位置づけるとともに、「歩きまわりたくなるまちなか」の中核スポットとして、町外からの観光客の増加を図ります。

#### 【事業内容】

- 大橋上屋建設工事 30m



「新大橋」完成イメージ

### 【継続】定住対策住宅取得支援事業

500万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町民が新たに住宅を新築する場合、または中古住宅などを購入する場合に係る経費の一部を助成します。

#### 【助成内容】

補助金の額：対象経費の1/2  
限度額 100万円

※中古住宅購入の場合

対象経費の1/2  
限度額 50万円

### 【新規】若者関係人口創出事業

311万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

将来的な移住・定住人口の増加につながる若者層の関係人口を創出するため、地方創生への関心の高い大学生などを招き、町の課題解決や活性化を図る活動を展開します。

#### 【事業内容】

- 大学生などによる地域づくりプログラムの実施

**【新規】 関係人口創出コーディネート事業**  
303 万円(いらっしやい葛巻推進課)

地域づくりに積極的に関わっていただく「くずまきファン」の拡大を図り、継続的な関係人口を創出するため、新たに「関係人口創出コーディネーター（地域おこし協力隊）」を配置します。

**【事業内容】**

- 関係人口創出の機運醸成・受け入れの基盤づくり

**【新規】 ふるさと納税手続業務**  
951 万円(いらっしやい葛巻推進課)

ふるさと納税について、これまで1種類だったインターネット受付窓口を、3種類に増やすことで寄附者の利便性を高め、全国の方々に葛巻町への納税をPRします。

令和2年度は533件、総額1,614万円の納税をしていただきました。

● **その他の主な事業**

● 快適な住まいづくり応援事業	450 万円(いらっしやい葛巻推進課)
● 商店等設備導入支援事業	500 万円( // )
● 定住促進奨励金	200 万円( // )
● 子育て世代移住者住宅取得支援事業	400 万円( // )
● 移住コーディネート業務	59 万円( // )
● ものづくりマイスター業務	237 万円( // )

**3 地域資源を活かした起業支援と雇用の確保 2,836万円**

(1) 起業・継業支援  
150 万円

起業・継業の支援  
150 万円

(2) 雇用機会の確保  
2,686 万円

雇用機会の確保  
2,686 万円

■ **主な事業と予算**

- 商工業の経営品質向上や技術の承継、後継者の育成など、産業振興による地域経済の活性化を図ります。
- 町民の就労機会の確保と拡大、就労者の地元への定着を促進するため、事業主等に対する支援を行います。
- 町内の商工業者の継業（事業承継）を支援し、町内商工業の振興と地域経済の活性化を図ります。
- 新たな雇用の場を創出し、都市部からの若者の呼び込みと地域内の若者の定着を推進することで、地域づくりの人材の確保を図ります。

## ●重点的に実施する事業

### 【継続】雇用促進事業補助事業

1,200万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

町内事業者が新たに町民を雇用する場合に、労働者の給料の一部を助成し、町内における雇用機会の拡大と町民所得の向上を図ります。

#### 【助成内容】

- 39歳以下の方を雇用した場合  
給料月額1/3、上限なし  
補助対象期間：3年間
- 60歳以上の方を雇用した場合  
給料月額1/4 上限1.5万円/月  
補助対象期間：2年間

### 【新規】資格取得助成事業

100万円〈いらっしやい葛巻推進課〉

就職や仕事に役立つ資格や免許の取得に要する経費の一部を助成し、町民の就職機会の拡充や職務能力の向上を図るとともに、町への定住を促進します。

### 【新規】特定地域づくり事業

1,175万円〈政策秘書課〉

地域の小規模事業者の季節ごとの仕事を組み合わせることで、新たな雇用の場を創出し、都市部からの若者の呼び込みと地域内の若者の定着を推進し、地域づくりの人材の確保を図るため、人材派遣事業を行う「特定地域づくり事業協同組合」の取組みを支援します。

#### 【助成内容】

- 特定地域づくり協同組合に対する補助
- 特定地域づくり協同組合設立支援
- 特定地域づくり協同組合参加事業者に対する補助



## IV その他の行政業務 29億3,196万円

行政運営、賦課徴収、戸籍、選挙、町債の返済等で、総合計画の体系に分類できない業務  
29億3,196万円

公債費	9億1,264万円
総務、企画、統計	17億4,400万円
税務、戸籍	5,796万円
議会、選挙、監査	8,194万円
その他	1億3,542万円

## ●重点的に実施する事業

### 【継続】役場新庁舎等建設事業

2億6,160万円〈政策秘書課〉

老朽化が進む役場庁舎の建替えと、各種施設の集約化と複合化を図るため、施設整備に係る建設工事を行います。

#### 【事業内容】

- 南側エントランス整備工事 など

### 【新規】町村合併66周年記念事業

600万円〈政策秘書課〉

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から1年延期した周年事業を開催し、まちづくりに対する機運を醸成し、さらなる町の発展を図るとともに、「山村のモデル」としての取組みを県内外に情報発信し、交流人口および関係人口の増加・拡大を図ります。

#### 【事業内容】

- 「葛巻町66周年記念式典」開催
- NHK公開番組「真打ち競演」開催 など

# 令和2年度から令和3年度に予算を繰り越して実施する事業

## ●主な繰越事業

### テレワーク施設等整備事業

1億4,650万円（総務課）

テレワーク普及を背景に、自然・子育て環境が充実している町の魅力に触れながら新たな働き方を実現するため、その中心となるサテライトオフィスを開設します。

#### 【事業内容】

- 旧葛巻幼稚園園舎をテレワーク用施設に改修

### 高齢者福祉施設整備事業

7,911万円（健康福祉課）

高齢者の交流活動の拠点としての充実を図るため、築35年が経過した老人福祉センターの改築を行います。

#### 【事業内容】

- 施設用地の取得
- 施設整備に係る実施設計業務

## ●繰越事業一覧

事業名	事業費	完了見込
ICカードシステム導入支援事業	37万円	R4.3月
ラジオ受信点移設業務	150万円	R4.3月
テレワーク施設等整備事業	1億4,650万円	R4.3月
役場新庁舎建設事業	10億5,190万円	R4.8月
高齢者福祉施設整備事業	7,911万円	R3.9月
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2,774万円	
農地等災害復旧対策事業	175万円	R3.11月
草地畜産基盤整備事業	4,648万円	R3.7月
畜産競争力強化整備事業	3億3,804万円	R4.2月
道の駅レストラン整備事業	1億3,794万円	R3.9月
特用林産施設体制整備復興事業	75万円	R3.4月
観光拠点施設自転車利用環境向上事業	181万円	R3.6月
道路改良事業費・茶屋場田子線	700万円	R3.9月
道路改良事業費・葛巻浦子内線	1億3,591万円	R3.12月
道路改良事業費・愛羅瀬線	1,700万円	R3.8月
道路改良事業費・追鍋線	109万円	R3.8月
防災行政無線デジタル化工事	5,900万円	R3.6月
校内ライブ情報配信システム整備事業	3,240万円	R3.10月
公共土木施設災害復旧工事	1億790万円	R3.12月
くずまきテレビ取材用車両購入	180万円	R3.5月
学校情報通信ネットワーク環境施設整備事業	4,290万円	R3.5月
繰越事業費 計	22億3,889万円	

# 令和元年度 まちの 決算 の状況

## ■歳入歳出決算額

### ○一般会計・特別会計の状況

令和元年度の一般会計及び3つの特別会計の決算総額は、歳入総額82億1,910万円に対し、歳出総額73億7,871万円で、歳入歳出差引額は8億4,039万円（実質収支等は5億5,322万円）となっています。

また、前年度と比較して歳入総額は2億6,449万円（3.1%）の減、歳出総額は2億6,728万円（3.5%）の減となっています。

会計名	当初予算額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
一般会計	88億1,756万円	70億321万円	62億874万円	7億9,447万円
特別会計	12億5,987万円	12億1,589万円	11億6,997万円	4,592万円
国民健康保険事業	9億9,035万円	9億4,445万円	9億854万円	3,591万円
農業集落排水事業	1億9,267万円	1億9,186万円	1億8,575万円	611万円
後期高齢者医療事業	7,685万円	7,958万円	7,568万円	390万円
合計	100億7,743万円	82億1,910万円	73億7,871万円	8億4,039万円

### ○一般会計の歳入・歳出決算の内訳

歳入項目		令和元年度決算額 (構成比率)	歳出項目		令和元年度決算額 (構成比率)
自主財源	町税	4億7,852万円 (6.8%)	義務的経費	人件費	8億348万円 (12.9%)
	諸収入	1億1,212万円 (1.6%)		公債費	7億9,030万円 (12.7%)
	分担金及び負担金	4,495万円 (0.6%)		扶助費	5億4,727万円 (8.8%)
	繰入金	3億5,114万円 (5.0%)	投資的経費	普通建設事業費 (補助)	4億1,680万円 (6.7%)
	その他の自主財源	9億1,054万円 (13.0%)		普通建設事業費 (単独)	6億1,818万円 (10.0%)
依存財源	地方交付税	33億1,695万円 (47.4%)	災害復旧事業	358万円 (0.1%)	
	町債	5億4,240万円 (7.7%)	その他の経費	補助費等	12億9,738万円 (20.9%)
	国庫支出金	4億6,474万円 (6.6%)		物件費	9億5,162万円 (15.3%)
	県支出金	5億6,326万円 (8.0%)		繰出金	4億7,631万円 (7.7%)
	地方譲与税	9,943万円 (1.4%)		その他の経費	3億382万円 (4.9%)
	その他の依存財源	1億1,916万円 (1.7%)			
合計	70億321万円 (100.0%)	合計	62億874万円 (100.0%)		

## ○企業会計

病院事業会計は総収益 10 億 2,576 万円に対し、総費用が 10 億 4,958 万円となり、純損失 2,382 万円を計上しました。

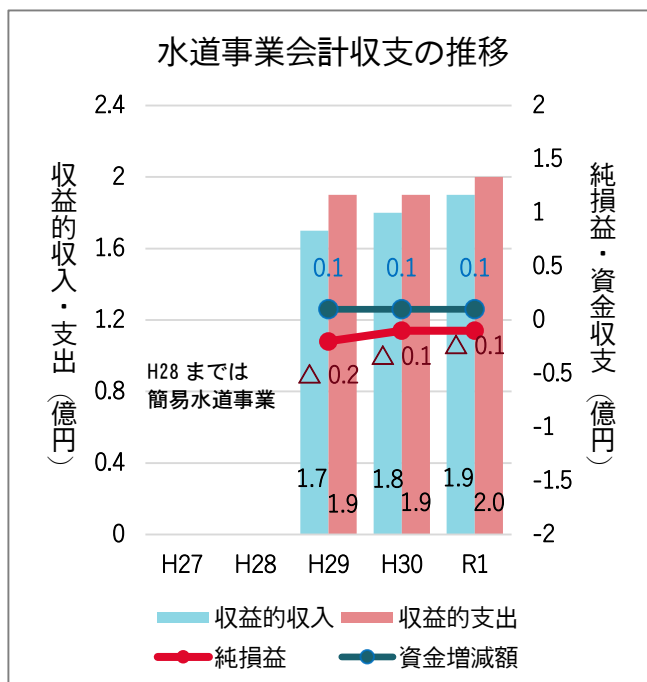
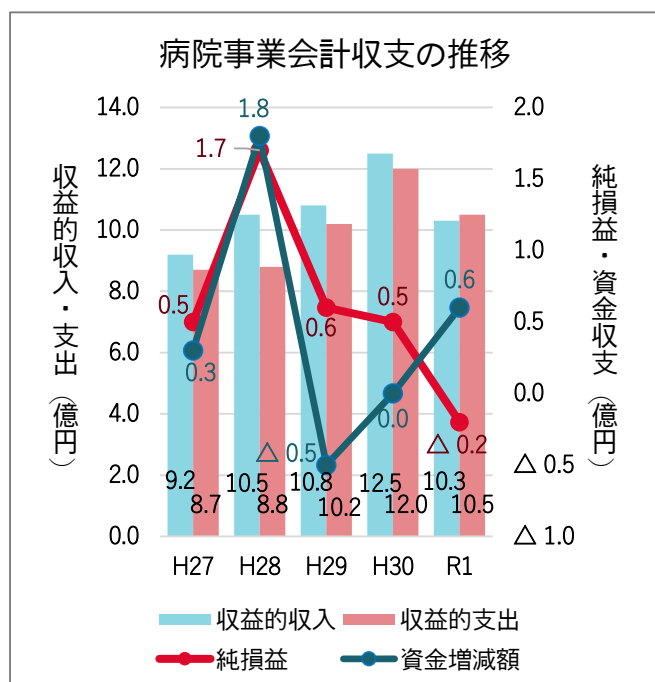
水道事業会計は総収益 1 億 8,591 万円に対し、総費用が 1 億 9,868 万円となり、純損失 1,277 万円を計上しました。

(税込)

項目	病院事業会計		水道事業会計	
収益的収支	医業収益	6億6,667万円	営業収益	1億2,105万円
	医業外収益	2億8,391万円	営業外収益	6,486万円
	医業費用	10億3,028万円	営業費用	1億8,146万円
	医業外費用	1,844万円	営業外費用	1,711万円
	特別利益	7,518万円	特別利益	—
	特別損失	86万円	特別損失	11万円
	純損益	△2,382万円	純損益	△1,277万円
資本的収支	資本的収入	4,585万円	資本的収入	7,082万円
	資本的支出	8,382万円	資本的支出	1億1,127万円
	差引収支	△3,797万円	差引収支	△4,045万円
資金収支	資金増減額	5,979万円	資金増減額	1,267万円

※ 「収益的収支」は、事業年度の経営活動に伴って発生する収益と費用を経理したもので、「資本的収支」は、建物や施設の建設などの費用を経理したものです。

また、「資金収支」は事業年度における資金の受払いの状況を経理したもので、資金増減額は、事業年度における現金の増加（△は減少）額を示しています。

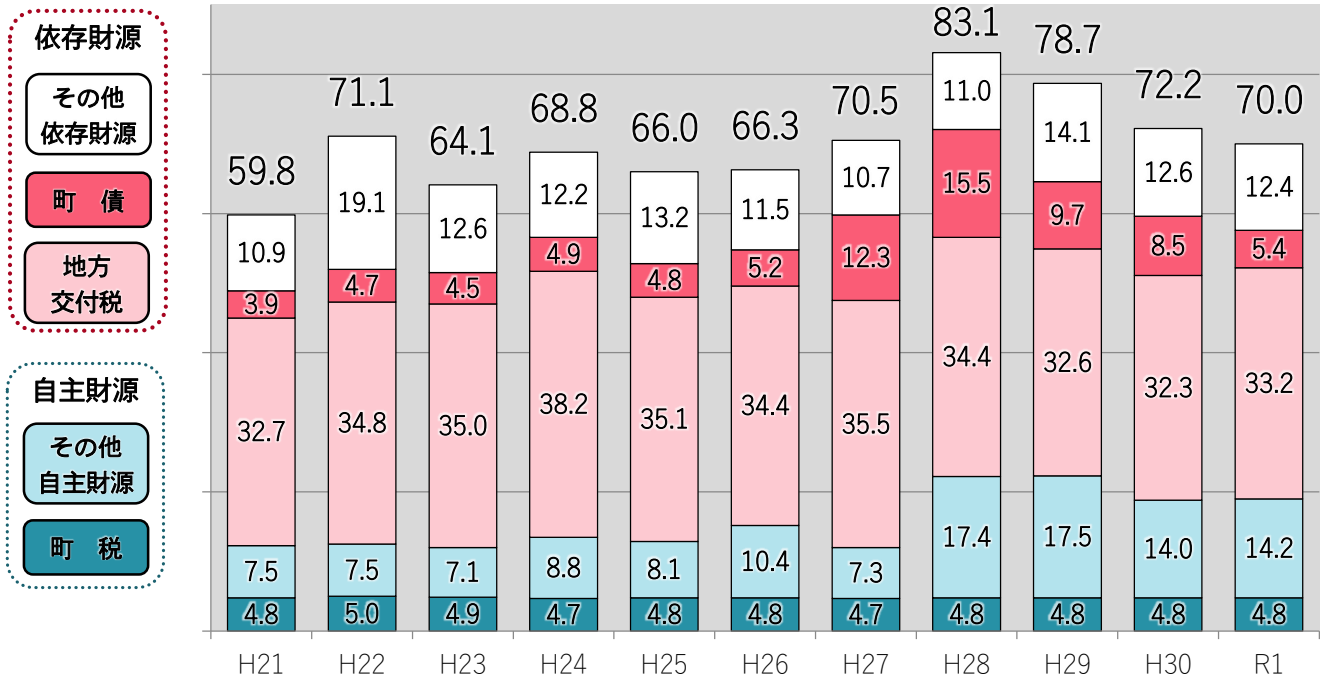


## ■一般会計歳入歳出決算額の推移

令和元年度の町の一般会計決算額は、歳入が70億321万円（前年度比2億1,799万円、3.0%の減）、歳出が62億874万円（前年度比2億1,759万円、3.4%の減）となり、歳入歳出差引額は7億9,447万円（前年度比39万円、0.1%の減）の黒字となっています。

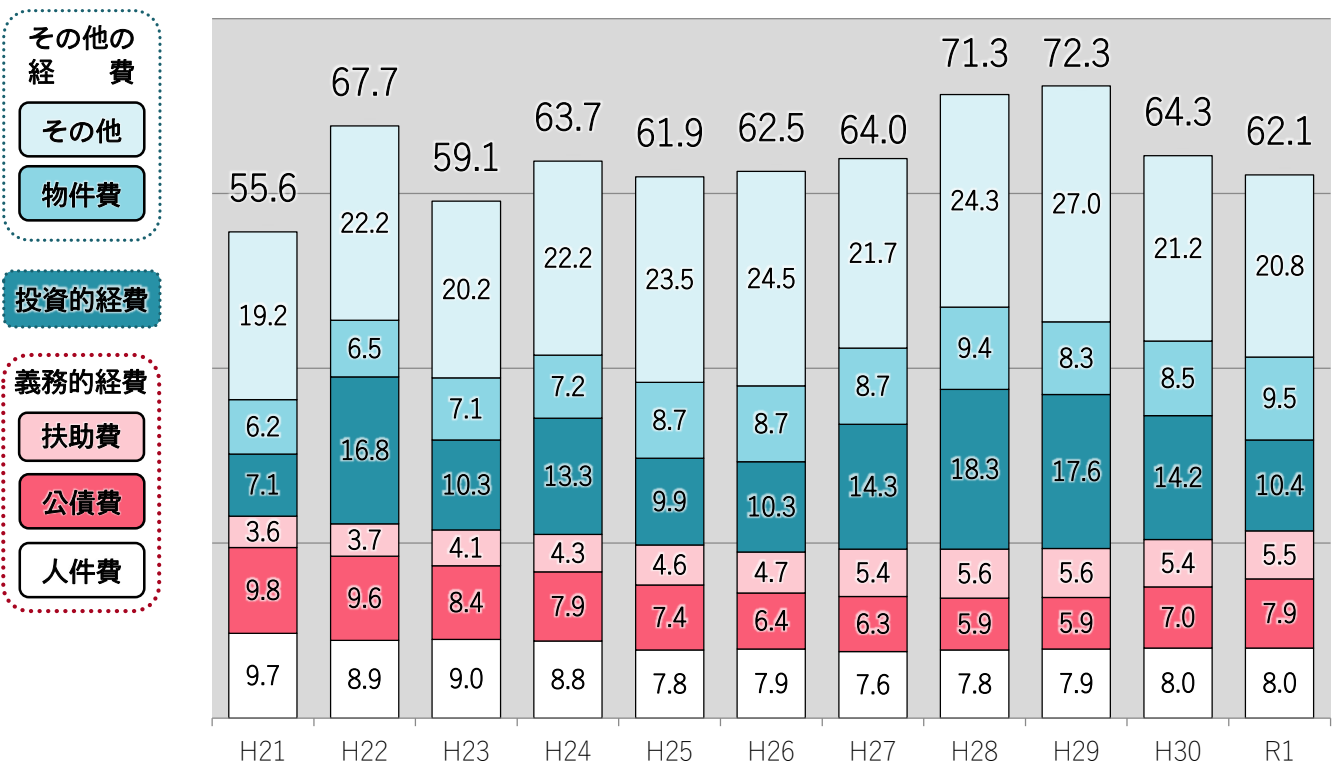
### ●歳入決算額の推移

（単位：億円）



### ●歳出決算額の推移

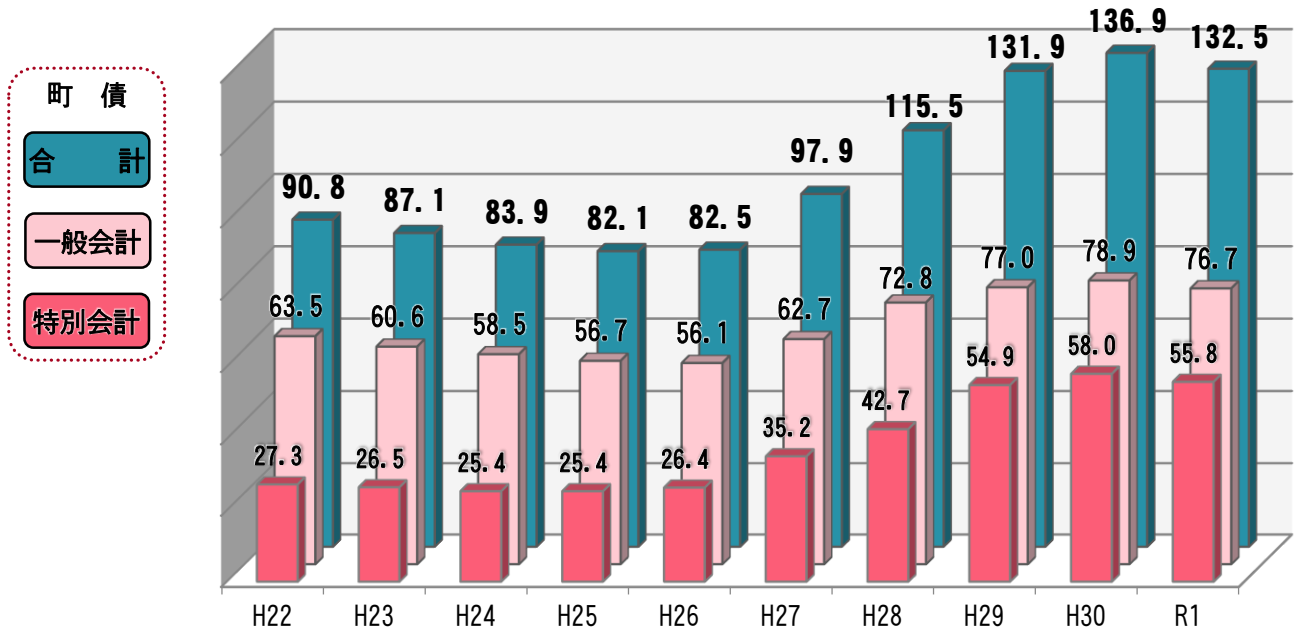
（単位：億円）





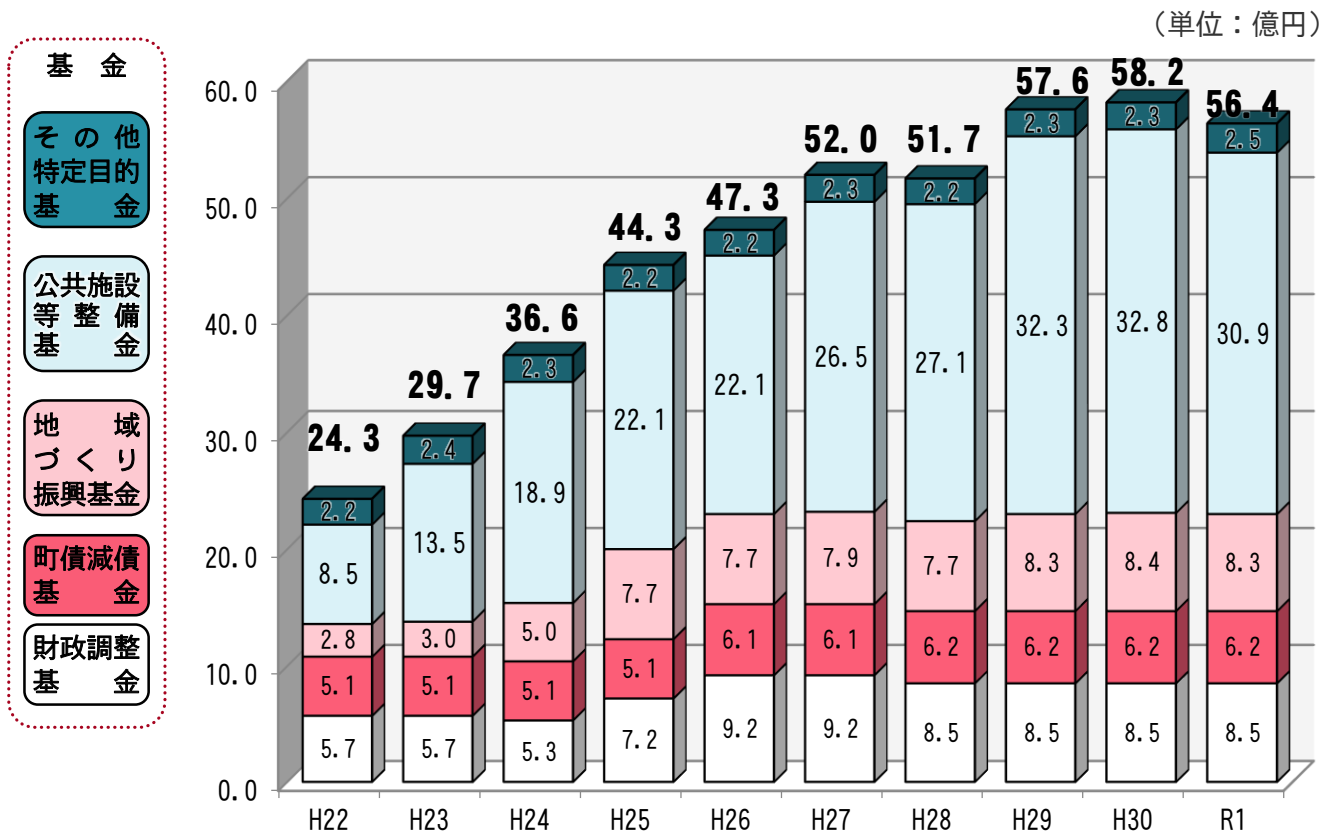
## ■町債現在高の推移

町の借金である町債残高の推移を表したグラフです。一般会計では、新庁舎建設整備事業や学校施設環境改善事業、特別会計では、特定地域生活排水処理事業や江刈地区水道整備事業に係る借入がありました。借入残高は平成30年度に比べ4億3,946万円(3.2%)の減となっています。(単位：億円)



## ■基金残高の推移

町の貯金である基金の令和元年度末の残高総額は56億3,976万円で、前年度に比較して1億7,764万円(3.1%)の減となりました。積み立てた基金は、役場新庁舎建設のほか、今後見込まれる老朽化した公共施設や各種インフラの修繕、更新などの費用に充てられる予定です。(単位：億円)



# ■まちの財政の状況

## ●財政指標

項目	令和元年度 決算 A	平成30年度 決算 B	差引 (A - B)	早期健全化 基準	財政再生 基準
実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	- (赤字なし)	- (赤字なし)	-	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	7.6 %	6.3 %	1.3p t	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	-	16.2 %	△16.2p t	350.0 %	
財政力指数	0.16	0.16	-		
経常収支比率	85.3 %	86.9 %	△1.6p t		

### ■実質赤字比率

一般会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の解消を図る必要があります。

町の令和元年度一般会計における実質赤字額は生じていませんので、実質赤字比率はありません。

### ■連結実質赤字比率

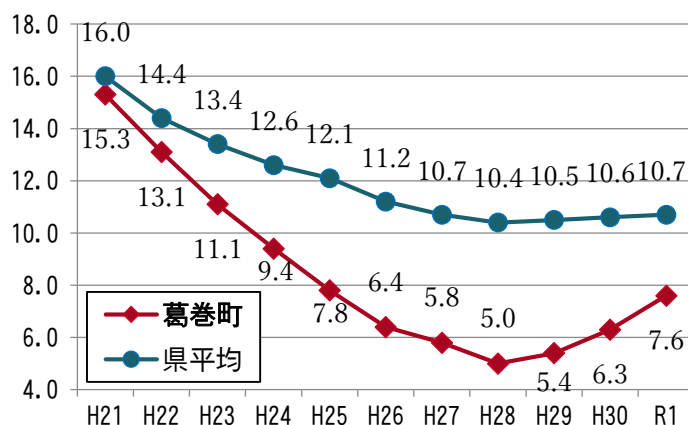
特別会計などを含め全ての会計における赤字の程度を指標化して、財政運営の深刻度を示す比率です。連結実質赤字比率が生じた場合（マイナスとなった場合）には、赤字の早期解消を図る必要があります。

町の令和元年度決算において、いずれの会計とも実質赤字額は生じていませんので、連結実質赤字比率はありません。

### ■実質公債費比率

借入金の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化して、資金繰りの危険度を示す比率です。実質公債比率の早期健全化基準は25%ですが、18%を超えると町債の借入れに対して都道府県からの許可が必要となります。

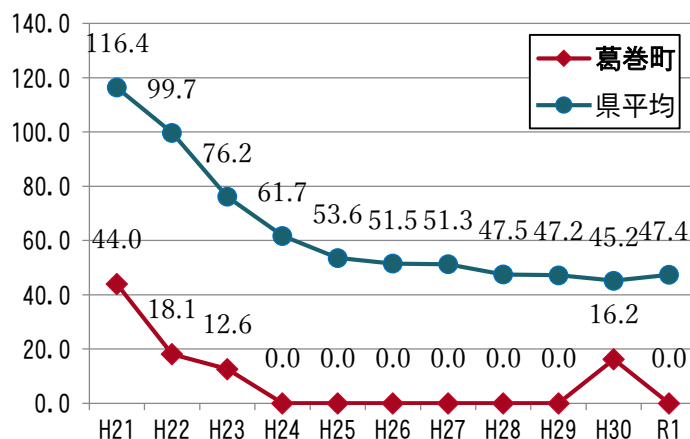
町の令和元年度における実質公債比率は、7.6%で、前年度と比較して1.3ポイント上昇しています。



### ■将来負担比率

一般会計における将来負担見込額（借入金の残高、公益企業の借入金の繰入見込額、退職手当負担見込額、第三セクターの負債額等）を指標化して、将来の財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示す比率です。

町の令和元年度における将来負担比率は、0.0%となりました。



## ■財政力指数

財政力(※1)の過去3カ年間の平均値をいい、財政力を示す指数として用いられる数値で、財政力指数が「1」に近いほど財政力が強いとみることができます。

町の令和元年度の財政力指数は0.16で、前年度と同値となりました。

※1 財政力 … 基準財政収入額(※2)の基準財政需要額(※3)に対する割合

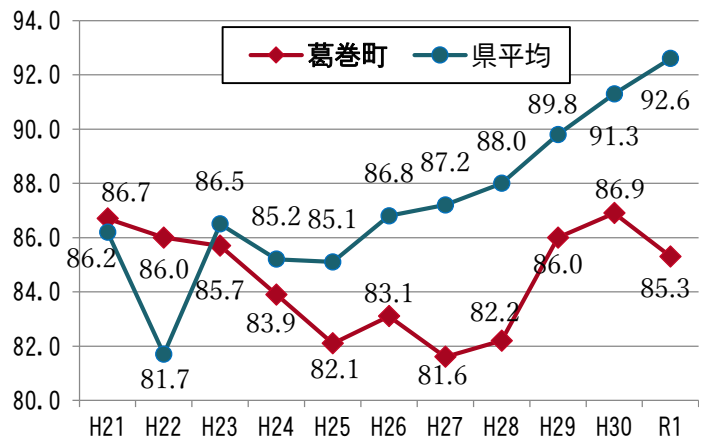
※2 基準財政収入額 … 通常標準的に徴収しうるであろうと考えられる税収入

※3 基準財政需要額 … 合理的で妥当な水準で行政活動を行っていくために必要な財政需要

## ■経常収支比率

使い道が特定されていない経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように経常的に支出される経費に割り当てられる財源の比率で、この比率が低くなるほど財政構造が弾力的であることを示しています。

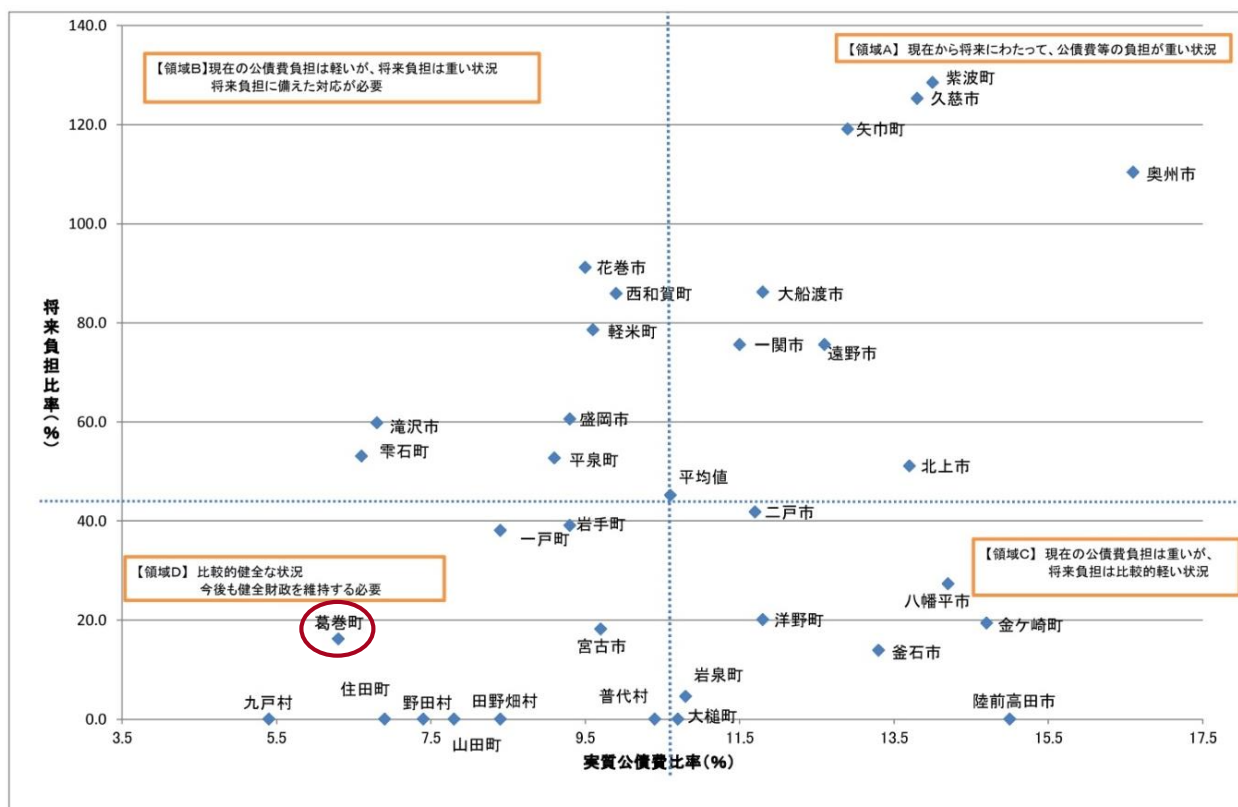
町の令和元年度の経常収支比率は85.3%で、前年度と比較して1.6ポイント減少しています。



## ●令和元年度財政分析指標クロス表

市町村の財政運営が健全であるかを分析するために、令和元年度の実質公債費比率と将来負担比率を合わせて表にすると次のようになります。

当町は実質公債費比率、将来負担比率ともに低い「領域D」に分布しており、現状では比較的健全な財政状況であると言えます。



## ■一部事務組合及び第三セクターの状況（令和元年度）

### ●関係する一部事務組合等の財政状況

（単位：百万円）

	歳入	歳出	形式収支	実質収支
盛岡地区広域消防組合	7,350	7,233	117	61
盛岡北部行政事務組合	7,362	7,211	151	151
岩手県市町村総合事務組合	10,952	10,648	304	304
岩手県後期高齢者医療広域連合	162,521	158,733	3,788	3,788

（※財政状況資料集より）

形式収支…歳入決算総額から歳出決算総額を差し引いた額

実質収支…形式収支から翌年度へ繰り越すべき財源額を差し引いた額

### ●第三セクター等の経営状況及び町の財政支援の状況

（単位：百万円）

	経常損益	純資産	町からの 出資金	町からの 補助金	町の損失 補償債務 残高
(一社) 葛巻町畜産開発公社	88	542	189	4	171
(株) グリーンテージくずまき	8	43	20	1	-
(株) 岩手くずまきワイン	△16	251	40	1	70
葛巻町森林組合	6	125	27	1	100

（※財政状況資料集より）

経常損益…営業収益と営業外収益から、営業費用と営業外費用を差し引いた額。

損失補償…第三セクターが金融機関から融資を受ける場合に、出資している地方公共団体が融資を行う金融機関と損失補償契約を結ぶこと。

# 令和元年度 まちの財務書類

## ■地方公会計制度に基づく財務書類(一般会計分)

官庁会計決算を補完する資料として、複式簿記の考え方に基づく新公会計財務書類「①貸借対照表、②行政コスト計算書、③純資産変動計算書、④資金収支計算書」を作成しています。

貸借対照表は、会計年度末時点における資産保有状況とその財源調達状況を、行政コスト計算書は、会計期間中の資産形成に結びつかない経常的な行政活動に係るコストを、純資産変動計算書は、貸借対照表に計上されている各項目が、1年間でどのように変動したかを、資金収支計算書は会計期間中の現金等の流れを表したものとなっています。

## ■貸借対照表 (BS)

貸借対照表は、会計年度末時点で住民サービスを提供するために所有する資産(土地、建物、基金など)がどれだけあり、その資産を形成するために今までどのような財源(負債、純資産)で賄ってきたのかを表す財務書類です。

### ●貸借対照表 (BS)

(単位:千円)

[資産の部]	令和元年度	平成30年度	差引増減	[負債の部]	令和元年度	平成30年度	差引増減
固定資産	21,225,297	22,036,572	△ 811,275	固定負債	7,992,691	8,313,338	△ 320,647
有形・無形固定資産	15,361,820	15,305,262	56,558	(1)地方債	7,046,073	7,323,093	△ 277,020
(1)土地	1,407,640	1,398,988	8,652	(2)退職手当引当金	939,405	975,169	△ 35,764
(2)立木竹	108,667	106,167	2,500	(3)その他	7,213	15,076	△ 7,863
(3)建物	5,666,317	5,665,988	329	流動負債	712,345	657,498	54,847
(4)工作物	487,698	514,970	△ 27,272	(1)1年内償還予定 地方債	621,809	563,966	57,843
(5)インフラ資産	7,363,938	7,430,090	△ 66,152	(2)未払金	7,863	7,863	0
(6)物品	236,185	153,041	83,144	(3)賞与等引当金	49,343	47,637	1,706
(7)その他	91,375	36,018	55,357	(4)預り金	33,330	38,032	△ 4,702
出資金・貸付金等	5,863,477	6,731,310	△ 867,833	<b>負債合計</b>	<b>8,705,036</b>	<b>8,970,836</b>	<b>△ 265,800</b>
(1)投資・出資・ 貸付金等	975,677	1,665,858	△ 690,181	<b>[純資産の部]</b>	<b>令和元年度</b>	<b>平成30年度</b>	<b>差引増減</b>
(2)基金	4,887,800	5,065,452	△ 177,652	資産合計－負債合計	14,211,911	14,756,302	△ 544,391
①減債基金	620,833	620,827	6	=純資産合計			
②特定目的基金	4,266,967	4,444,625	△ 177,658				
流動資産	1,691,650	1,690,566	1,084				
(1)現金預金	827,801	832,895	△ 5,094				
(2)未収金	10,887	4,718	6,169				
(3)財政調整基金	852,962	852,953	9				
<b>資産合計</b>	<b>22,916,947</b>	<b>23,727,138</b>	<b>△ 810,191</b>	<b>純資産合計</b>	<b>14,211,911</b>	<b>14,756,302</b>	<b>△ 544,391</b>

- 資産 = 将来の世代に引き継ぐ社会資本、債務返済の財源等
- 負債 = 将来の世代の負担となる債務
- 純資産 = これまでの世代の負担

町民一人当たり  
換算すると、次の  
通りになります



資産  
386万円  
(H30:387万円)

負債  
147万円  
(H30:146万円)

純資産  
239万円  
(H30:241万円)

※葛巻町の人口 5,940人 (R2.3.31現在)

## ■行政コスト計算書

行政コスト計算書は、当該年度に行った行政活動のうち、ごみの収集や福祉サービスの提供といった資産の形成には結びつかない行政サービスに係る経費と財源のフローを表したものです。

行政コスト	53.0億円	収益	2.3億円
<b>人にかかるコスト</b>		<b>日常的に受ける収益</b>	
給与や退職引当、共済掛金等	8.7億円	使用料、手数料	0.6億円
<b>物にかかるコスト</b>		その他経常収益	1.4億円
消耗品、維持補修費、減価償却費等	21.0億円		
<b>移転支出コスト</b>		<b>臨時的に受ける収益</b>	
社会保障給付費や補助金など	22.3億円	引当金の取崩しなど	0.3億円
<b>その他のコスト</b>			
支払利息、火災保険料等	0.4億円	<b>純行政コスト</b>	<b>50.7億円</b>
臨時に係るコスト	0.6億円	不足する47.9億円は町税や地方交付税などの一般財源や、国・県補助金などで賄っています。	

## ■純資産変動計算書

貸借対照表上の「純資産」が1年間でどのように変動したのかを示すものです。

税収や国・県補助金、減価償却などにより、純資産がどのように増減したのかを表しています。

純資産合計	
期首純資産残高	147.6億円
純経常行政コスト	▲50.7億円
税収等	40.7億円
補助金等受入	10.4億円
その他	▲5.9億円
期末純資産残高	142.1億円

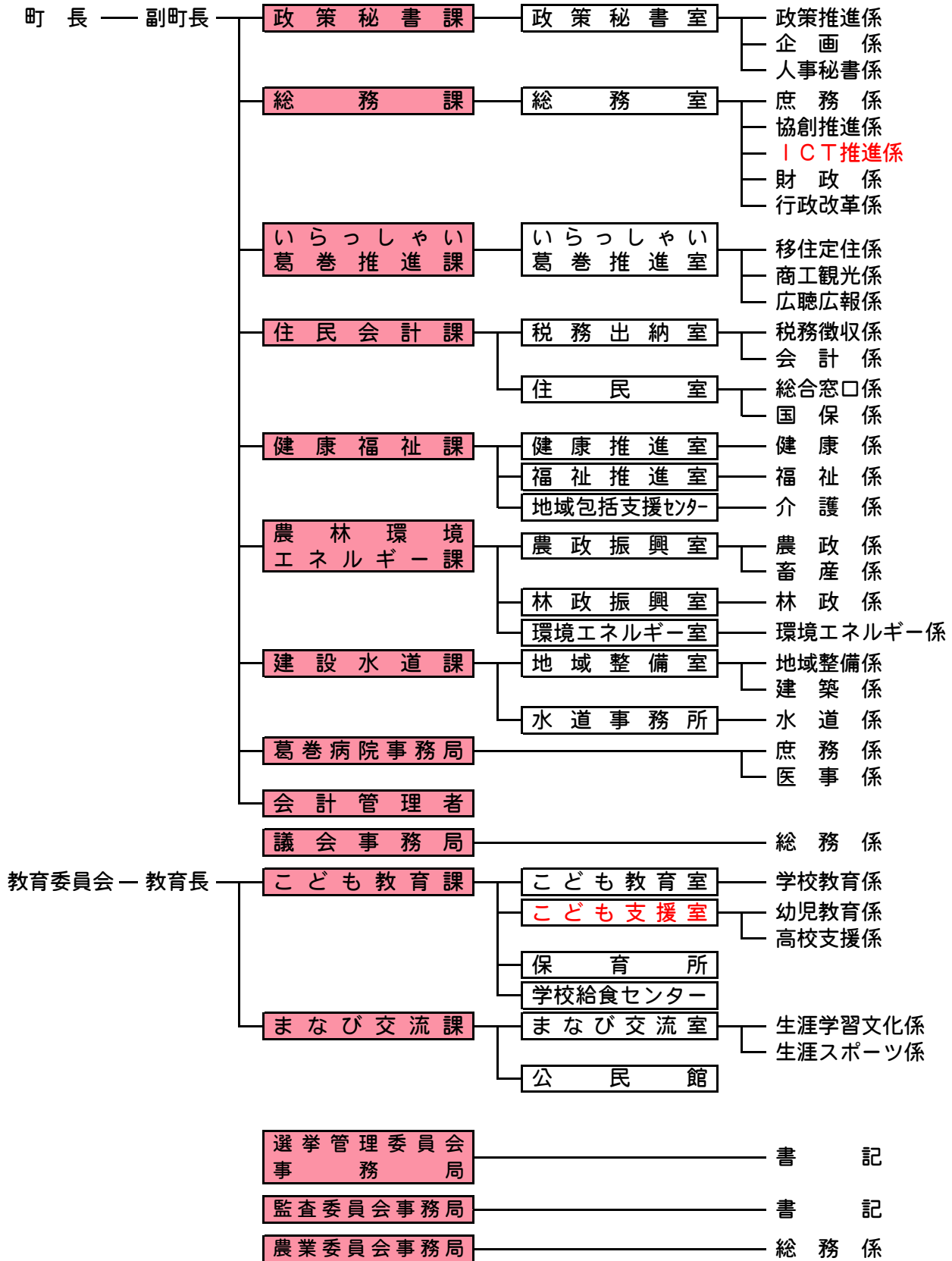
## ■資金収支計算書

資金収支計算書は、1年間の行政活動による現金預金の収入と支出を表す財務書類です。

<b>1 業務活動収支 A</b>	<b>3.9億円</b>
業務支出	43.1億円
業務収入	47.3億円
臨時支出	0.3億円
臨時収入	0.0億円
<b>2 投資活動収支 B</b>	<b>▲1.6億円</b>
投資活動支出	11.0億円
投資活動収入	9.4億円
<b>3 財務活動収支 C</b>	<b>▲2.3億円</b>
財務活動支出	7.7億円
財務活動収入	5.4億円
本年度資金収支額(A+B+C) D	0.0億円
前年度末資金残高 E	7.9億円
本年度末資金残高(D+E) F	7.9億円
本年度末歳計外現金残高 G	0.4億円
本年度末現金預金残高(F+G)	8.3億円

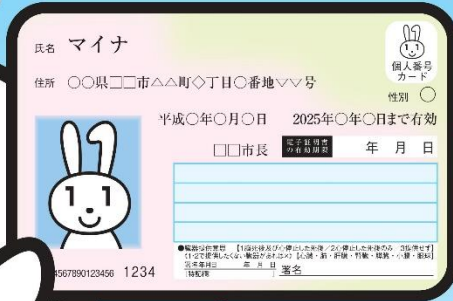
一般会計の財務書類のほか、町の特別会計・公営事業会計を加えた「全体財務書類」、一部事務組合や第三セクター等を加えた「連結財務書類」は、町ホームページで公表しています。

# 令和3年度 まちの 行政組織



※赤字は新たに行政組織が見直されたもの

# 申請してね！マイナンバーカード



マイナンバーは裏面に記載

## 交付手数料は無料

※紛失その他に伴う再発行手数料は有料

## カード一枚でマイナンバーと本人の確認ができます

## 大切にしておいてね

### 申請方法



郵便申請



スマートフォン



パソコン



まちなかの証明用写真機※

※まちなかの証明用写真機は、利用の多い場所から順次対応していく予定であり、申請できるものとできないものがあります。

### 郵便申請イメージ



申請書の部分を切り取る



必要事項を記入し顔写真を貼る



返信用封筒に入れる



ポストに投函

申請方法の詳細については公式サイトでござんください。

マイナンバーカード 申請 検索

※カードの申請は任意になります

### マイナンバーカードの受け取り

交付場所などをお知らせする交付通知書(はがき)がご自宅に届きます。



必要な持ち物をお持ちになり、交付通知書(はがき)に記載された期限までに、記載された交付場所にご本人がお越し下さい。



交付窓口で本人確認の上、暗証番号を設定していただくと、カードが交付されます。

※暗証番号はお越しになる前にあらかじめ考えておいてください。



●マイナンバーを証明する等、大切なカードですので、その受け取りは、必要書類をはじめ厳格な手続となります。ご理解・ご協力のほど、お願いいたします。

## お知らせします！ まちの行財政 2021

この予算書に関するご意見、お問い合わせは、葛巻町役場 総務課行政改革係までお気軽にお寄せください。

TEL:0195-66-2111 (内線 222) FAX:0195-66-2101

ホームページ <https://www.town.kuzumaki.iwate.jp/>

※ この冊子の印刷費は、1冊当たり約165円です。



スマホの方は  
こちらから